

会員の皆様にお聞きしました

# 新南陽の景況感

## 調査概要

**調査対象期間** 2021年1月～3月（現状）における景況感と、2021年4月～6月（今後）における景況見通し

**調査対象** 新南陽地域の企業88社

**調査方法** 商工会議所経営指導員等職員の巡回相談時に調査票回収

**調査項目** 「業況」、「売上高」、「採算」、「仕入単価」、「従業員」、「設備」、「資金繰り」

## 産業全体

依然として業況D-1が悪化する業種がある、先行き見通しはマイナスが緩和する業種もあるが、不透明な状況が続く。

新南陽地域の2021年1月～3月期の業況D-1の全産業合計値は▲69.2%となり、前期調査（2020年10月～12月期）よりもマイナス幅が2.2ポイント縮小した。全国では「第163回中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構）」全産業の業況D-1はマイナス幅が拡大している。

新南陽地域の今後3カ月の先行き見通しでも、全産業合計値で回復する見通しとなっており、建設業のみがマイナス幅が拡大する数字を示している。全国では「第163回中小企業景況調査」の全産業合計値でも、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

全国的には、半導体関連や堅調な自動車関連の製造業のほか、飲料品・家電製品を中心に巣ごもり消費に下支えされた小売業で業況感が改善した。（商工会議所）

BO調査3月）中小企業の景況感に持ち直しの兆しが見られる。

**【卸・小売業】**  
売上高D-1のみ、前回の調査に比べてマイナス幅が縮小している。採算D-1、仕入単価D-1、従業員D-1のマイナス値が拡大した。今後3カ月の先行き見通しは業況D-1、売上高D-1、採算D-1のマイナス幅が縮小、マイナス幅が拡大した項目はない。

地域おまつり2年連続の中止など、業況の悪化が続いている等の報告有。

**【製造業】**  
業況D-1、売上高D-1、採算D-1は前回の調査に比べてマイナス幅が拡大している。仕入単価D-1は、前回の調査に比べてマイナス幅が縮小している。資金繰りD-1は100%（全事業者が好転と回答）。

今後3カ月の先行き見通しは、業況D-1、売上高D-1のマイナス幅が縮小に転じている。仕入単価D-1、従業員D-1、資金繰りD-1は悪化に転じている。

高炉メーカーの事業縮小の影響、働き方改革への対応等に苦慮している報告有。

**【サービス業】**  
採算D-1、仕入単価D-1、資金

繰りD-1は前回の調査に比べてマイナス幅が拡大している。マイナス幅が縮小した項目はない。

今後3カ月の先行き見通しでは、業況D-1、売上高D-1、採算D-1、資金繰りD-1のマイナス幅が縮小している。

マイナス幅が拡大した項目はない。

今期・今後3カ月の先行き見通し共に、従業員D-1、設備D-1で、100%（全事業者が不足と回答）。新型コロナウイルス感染症予防には注意を怠らないようにしているが、客足は鈍いとの報告有。

**【飲食・宿泊業】**  
業況D-1、売上高D-1、採算D-1、資金繰りD-1は▲100%（全事業者が悪いと回答）されている。今後3カ月の先行き見通しは、業況D-1、売上高D-1、のマイナス幅が縮小している。従業員D-1は100%（全事業者が不足と回答）。新忘年会、歓送迎の自粛、資金繰りのひっ迫等の報告有。

**【建設業】**  
業況D-1、売上高D-1、採算D-1、前回の調査に比べてマイナス幅が縮小している。仕入単価D-1は▲100%（全事業者が悪いと回答）されている。

監修・分析/マサエンジニアリング代表 中小企業診断士 佐伯 昌之 氏

### DI（景気判断指数）値とは？

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率をしめすものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりや意味する。

DI = (増加・好転などの回答の割合) - (減少・悪化などの回答割合)

	全体		卸・小売業		製造業		サービス業		飲食・宿泊業		建設業		運輸業		保険業	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
業況	-69.2	-41.9	-100.0	-50.0	-33.3	-20.0	-33.3	-14.3	-100.0	-66.7	0.0	-100.0	-60.0	0.0	-100.0	0.0
売上高	-55.6	-47.4	-77.8	-75.0	-50.0	-20.0	-55.6	-45.5	-100.0	-66.7	-25.0	-100.0	-20.0	20.0	-33.3	0.0
採算	-69.6	-62.2	-100.0	-75.0	0.0	0.0	-71.4	-45.5	-100.0	-100.0	-42.9	-100.0	-42.9	0.0	-33.3	-100.0
仕入単価	-76.9	-85.7	-100.0	-100.0	-66.7	-77.8	-100.0	-100.0	-20.0	-33.3	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	0.0	0.0
従業員	74.2	85.7	-100.0	-100.0	100.0	60.0	100.0	100.0	-33.3	100.0	100.0	100.0	83.3	100.0	100.0	100.0
設備	85.7	83.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
資金繰り	-42.9	-66.7	-100.0	-100.0	100.0	-100.0	-100.0	-33.3	-100.0	-100.0	0.0	-60.0	50.0	0.0	0.0	0.0

※前年比…2021年1月～3月と前年同月の比 見通し…今後3ヶ月（2021年4月～6月）の見通し

## 会員の声

### 【卸・小売業】

- ◇5月の「地域おまつり」も中止が決まり、2年連続の中止となり今年度上半期の景況は悪化のままである。
- ◇内食需要で堅調なのは、大型スーパー、ディスカウント、ドラッグストアで、その他の店は厳しい状況が続いている。
- ◇業種としては「コロナ」での影響は少ない。年齢、体調と相談しながらマイペースで仕事が来ている現状に満足です。

### 【製造業】

- ◇コロナに係る、日本の景気が悪化の中、働き方改革等の要望に対する改善がたいへん。
- ◇高炉メーカーの減産体制と、自動車の回復に鉄原材料不足で建築向け材料は絞られ、3月からメーカーの値上もあり在庫過多。
- ◇2020年下期（10月）以降、回復基調となりつつあるが、コロナが落ち着き、それ以前の状態まで回復するか不透明である。ニューノーマルの動向はしっかりウォッチングし、方向性を見極めていく。

### 【サービス業】

- ◇生産活動が戻ってきているのかコロナ禍前の水準に戻っている。人員確保が課題となってくると思われる。
- ◇コロナ禍の中多くのお客様がペットボトルのフタを来店時に持ってこられます。気持ちの余裕に少しホッとします。（会議所の呼びかけから11年で約105,000個約130人分になりました）
- ◇新型コロナウイルスの感染防止にマスク、手洗い等気をつけています。

### 【飲食・宿泊業】

- ◇2月の飲食店むけクーポン券は少し効果があったと思う。夜7:30以降の来店はまったくない。夜の営業が厳しいと思う。
- ◇従業員の手当を何とかしてほしいです。
- ◇新型コロナウイルスの影響で売上はマイナス40%。軽減税率の導入で、事務がたいへんです。全部10%にして下さい。後、借入れが出来なくて、店をやめられる所も出ています。そんな店も今まで税金をしっかりと納めて来られたのに国や県、市は見捨てずに、しっかり助けてあげて下さい。

### 【建設業】

- ◇遠方（都心部）での仕事が多く、営業がすぐに出張できない現状がある。
- ◇売上増加しているが、コロナ関連の経費が高み利益減少傾向にある。先行き不透明なため業況に不安はある。
- ◇コロナに伴い公共工事の予算が減少されないか大きな不安要素となっています。

### 【運輸業】

- ◇ステイホームもあり通販商品は増加しておりますが、人員不足が改善しません。営業車輛に設備投資（抗菌仕様）し、現人材の労働環境をより良くするよう努めています。
- ◇働き方改革、自動車運搬業務に於いては非常に問題有。人手不足、労働時間、産業保健、高齢化等経営上、先がみえません。

### 【保険業】

- ◇自粛ムードの蔓延により、個人消費の減少が顕著に現れている。一部事業を除き、（公共工事等）お金が廻っていない様に感じる。
- ◇コロナに対応した保険（休業、傷害等）の登場で、関心が高まっている気がします。オンライン上での保険の申込もできるようになったが、環境が整っていない。

今後3カ月の先行き見通しは、マイナス幅が縮小している項目は無く、業況D-1、売上高D-1、採算D-1、仕入単価D-1は▲100%（全事業者が悪いと回答）されている。

仕入単価の上昇による採算性の悪化や、働き方改革への対応に苦慮している等の報告有。

**【運輸業】**  
業況D-1、採算D-1、仕入単価D-1は、前回の調査に比べてマイ

ナス幅が拡大している。

今後3カ月の先行き見通しは、業況D-1、売上高D-1、採算D-1でマイナス幅が縮小。従業員D-1は100%（全事業者が不足と回答）。資金繰りD-1はプラスから0%（良いと悪いが同一数）になっている。

通販商品、コロナ関連商品の運搬が増加したとの報告有。

**【保険業】**  
業況D-1、売上高D-1、採算D

は、前回の調査に比べてマイナス幅が拡大している。

業況D-1は▲100%（全事業者が悪いと回答）されている。

今後3カ月の先行き見通しは、業況D-1、売上高D-1でマイナス幅が縮小している。

採算D-1は▲100%（全事業者が悪いと回答）されている。

コロナ関連の保険商品が登場した。その関心が高まったと報告有。